

政務活動報告書

会 派 名 弘前さくら未来

年 月 日	2025 年 7 月 29 日 ~ 2025 年 7 月 30 日			
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	防衛省 新青森駅～東京 電車、新幹線移動にて			
相手方 (会議名等)	防衛省 職員			
	防衛省陳情			
参加議員名	竹内博之 成田大介 樋川篤子 工藤裕介			
活動の概要	別紙のとおり			
※会議・研修資料等があれば、添付してください。				
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号
	交通費及び宿泊料	196,400 円	2	
		円		
		円		
		円		
		円		
	合計額	196,400 円		
備 考	(写真貼付等) 別紙のとおり			

陳情要望活動に関する報告書（政務活動費）

弘前さくら未来
会長 竹内博之

- 1 期間 令和7年7月29日（火）
- 2 視察先 防衛省 統幕第一会議室
- 3 項目 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望書提出
- 4 要望相手方 統合幕僚長 古田 圭秀 氏 防衛省大臣官房審議官 寺田 広紀 氏
- 5 同行議員（会派 弘前さくら未来） 成田大介、樋川篤子、工藤裕介

6 概要

弘前市議会議員有志で構成する防衛議員連盟では、陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化を求める要望活動を実施した。弘前駐屯地は、青森県西部地域における防衛・警備・災害派遣の拠点として重要な役割を担うだけでなく、地域住民との関わりの中でも幅広い活動を展開している。

具体的には、りんご園での援農ボランティア活動を通じて地域産業を支援しているほか、弘前さくらまつり、ねぶたまつり、弘前城菊と紅葉まつり、弘前城雪燈籠まつりなど各種行事にも積極的に参加・協力している。こうした取組により、弘前駐屯地は単なる防衛拠点にとどまらず、地域社会と深く結びついた存在となっている。

一方で、国防体制の見直しや自衛隊全体の体制再編が進められる中、駐屯地の機能や規模に影響が及ぶ可能性も否定できない状況にある。そのため、地域の安心・安全を守る観点からも、弘前駐屯地の体制維持・強化の必要性を国に対して強く要望したものである。

7 所感

今回の要望活動を通じて、弘前駐屯地の存在は防衛上の意義にとどまらず、災害対応、地域産業支援、各種行事への協力など、地域社会を支える多面的な役割を担っていることを改めて強く認識した。とりわけ、豪雪や自然災害への備えが重要な地域において、迅速に対応できる自衛隊の拠点が身近に存在することは、市民生活の安心につながる極めて大きな意味を持つ。

また、援農活動や地域行事への参加を通じて、駐屯地が地域住民との信頼関係を積み重ねてきたことは、数字では表しきれない価値であり、弘前地域にとっての大きな財産であると感じた。国の防衛政策は全国的な視点で進められるものであるが、地方には地方の実情があり、その現場感覚を丁寧に伝えていくことが地方議会の役割でもある。

今後も弘前さくら未来として、弘前駐屯地の体制維持・強化に向け、行政、経済界、関係団体と連携しながら、地域防災力と市民生活の安心を守る観点から必要な働きかけを継続していきたい。

陳情要望活動に関する報告書（政務活動費）

弘前さくら未来
成田大介

- 1 期間 令和7年7月29日（火）
- 2 視察先 防衛省 統幕第一会議室
- 3 項目 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望書提出
- 4 要望相手方 統合幕僚長 古田 圭秀 氏 防衛省大臣官房審議官 寺田 広紀 氏
- 5 同行議員（会派 弘前さくら未来） 竹内博之、樋川篤子、工藤裕介

6 概要

弘前市議会議員有志で構成する防衛議員連盟では、陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化を求める要望活動を実施した。弘前駐屯地は、青森県西部地域における防衛・警備・災害派遣の拠点として重要な役割を担うだけでなく、地域住民との関わりの中でも幅広い活動を展開している。

具体的には、りんご園での援農ボランティア活動を通じて地域産業を支援しているほか、弘前さくらまつり、ねぷたまつり、弘前城菊と紅葉まつり、弘前城雪燈籠まつりなど各種行事にも積極的に参加・協力している。こうした取組により、弘前駐屯地は単なる防衛拠点にとどまらず、地域社会と深く結びついた存在となっている。

一方で、国防体制の見直しや自衛隊全体の体制再編が進められる中、駐屯地の機能や規模に影響が及ぶ可能性も否定できない状況にある。そのため、地域の安心・安全を守る観点からも、弘前駐屯地の体制維持・強化の必要性を国に対して強く要望したものである。

7 所感

今回の要望活動を通じて、弘前駐屯地が地域防衛の拠点であるだけでなく、災害対応や地域行事への協力などを通じて、市民生活の安心を支える重要な存在であることを改めて認識した。特に近年は、自然災害や緊急事態への備えがこれまで以上に求められており、地域に即応性の高い部隊が所在している意義は非常に大きいと感じる。

また、弘前駐屯地は地域と継続的に関わりを持ち、信頼関係を築いてきた実績がある。こうした積み重ねは、単に防衛機能の有無だけでは測れない価値であり、地域社会にとって大きな財産である。国の政策は全国的な視点で進められるが、地方には地方の実情があることから、現場に近い立場の議員として、その必要性を丁寧に訴えていくことの重要性を感じた。今後も市民の安心・安全を守る観点から、弘前駐屯地の体制維持・強化に向けた取組を後押ししていきたい。

陳情要望活動に関する報告書（政務活動費）

弘前さくら未来
樋川篤子

- 1 期間 令和7年7月29日（火）
- 2 視察先 防衛省 統幕第一会議室
- 3 項目 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望書提出
- 4 要望相手方 統合幕僚長 古田 圭秀 氏 防衛省大臣官房審議官 寺田 広紀 氏
- 5 同行議員（会派 弘前さくら未来） 竹内博之、成田大介、工藤裕介

6 概要

弘前市議会議員有志で構成する防衛議員連盟では、陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化を求める要望活動を実施した。弘前駐屯地は、青森県西部地域における防衛・警備・災害派遣の拠点として重要な役割を担うだけでなく、地域住民との関わりの中でも幅広い活動を展開している。

具体的には、りんご園での援農ボランティア活動を通じて地域産業を支援しているほか、弘前さくらまつり、ねぷたまつり、弘前城菊と紅葉まつり、弘前城雪燈籠まつりなど各種行事にも積極的に参加・協力している。こうした取組により、弘前駐屯地は単なる防衛拠点にとどまらず、地域社会と深く結びついた存在となっている。

一方で、国防体制の見直しや自衛隊全体の体制再編が進められる中、駐屯地の機能や規模に影響が及ぶ可能性も否定できない状況にある。そのため、地域の安心・安全を守る観点からも、弘前駐屯地の体制維持・強化の必要性を国に対して強く要望したものである。

7 所感

今回の要望活動を通じて、弘前駐屯地の存在が地域の安心と安全を支える上で欠かせないものであることを改めて感じた。防衛や災害派遣といった本来任務はもとより、地域行事への参加や協力を通じて、市民にとって身近で信頼できる存在となっていることに大きな意味があると考えている。

特に、豪雪や自然災害への備えが重要な弘前市において、迅速に対応できる部隊が地域に所在していることは、市民生活を守る上で非常に重要である。また、地域に根差した活動を長年積み重ねてきたことは、弘前駐屯地が単なる施設ではなく、地域社会の一員として受け止められている証でもある。今後も、地域の実情や市民の思いをしっかりと踏まえながら、弘前駐屯地の体制維持・強化の必要性を広く共有し、関係機関への働きかけを続けていくことが大切であると感じた。

陳情要望活動に関する報告書（政務活動費）

弘前さくら未来
工藤裕介

- 1 期間 令和7年7月29日（火）
- 2 視察先 防衛省 統幕第一会議室
- 3 項目 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望書提出
- 4 要望相手方 統合幕僚長 古田 圭秀 氏 防衛省大臣官房審議官 寺田 広紀 氏
- 5 同行議員（会派 弘前さくら未来） 竹内博之、成田大介、樋川篤子

6 概要

弘前市議会議員有志で構成する防衛議員連盟では、陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化を求める要望活動を実施した。弘前駐屯地は、青森県西部地域における防衛・警備・災害派遣の拠点として重要な役割を担うだけでなく、地域住民との関わりの中でも幅広い活動を展開している。

具体的には、りんご園での援農ボランティア活動を通じて地域産業を支援しているほか、弘前さくらまつり、ねぷたまつり、弘前城菊と紅葉まつり、弘前城雪燈籠まつりなど各種行事にも積極的に参加・協力している。こうした取組により、弘前駐屯地は単なる防衛拠点にとどまらず、地域社会と深く結びついた存在となっている。

一方で、国防体制の見直しや自衛隊全体の体制再編が進められる中、駐屯地の機能や規模に影響が及ぶ可能性も否定できない状況にある。そのため、地域の安心・安全を守る観点からも、弘前駐屯地の体制維持・強化の必要性を国に対して強く要望したものである。

7 所感

今回の要望活動を通じて、弘前駐屯地は防衛上の拠点というだけでなく、災害時の迅速な対応や地域社会への継続的な支援を通じて、弘前地域の安全保障と暮らしの安心を支える重要な基盤であることを再認識した。とりわけ、国の防衛体制の見直しが進む中であっても、地方に所在する駐屯地が現場で果たしている役割は極めて大きく、地域の実情に即した視点で必要性を訴えていくことが重要であると感じた。

弘前駐屯地は、これまで地域行事や各種活動への協力を通じて、市民との信頼関係を築いてきた。こうした日常的な関わりは、非常時における安心感にもつながるものであり、地域にとって大きな価値を持っている。今後も、地域防災力の確保、市民生活の安心、そして地域との連携という観点から、弘前駐屯地の体制維持・強化に向けた取組を着実に進めていく必要があると考える。

防衛省 統合幕僚長
吉田 圭秀 様

要 望 書

令和7年7月29日

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望

武力によるロシアのウクライナ侵略、核開発から端を発したイスラエルとイランの対立、北朝鮮による大陸間弾道ミサイルの発射など、国際社会においては、政治的・社会的問題が絡み合う緊迫した情勢が続いており、我が国を取り巻く安全保障環境はより一層厳しさを増しております。

弘前駐屯地は、弘前商工会議所を中心とする市民活動によって誘致し、昭和43年に開設されており、その主たる任務である青森県西部の防衛・警備・災害派遣に留まらず、駐屯地周辺のりんご園での援農ボランティアや当市四大まつりへの参加・協力など、地域経済の観点からも地域にとってなくてはならない存在となっております。

令和4年12月には国家防衛戦略が閣議決定され、自衛隊体制について見直しが見られるものと認識いたしております。これまで弘前市民とともに歩んできた弘前駐屯地の体制を維持し、さらなる強化に向けて格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月29日

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

会長 尾崎 寿一

防衛省 大臣官房審議官
寺田 広紀 様

要 望 書

令和7年7月29日

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望

武力によるロシアのウクライナ侵略、核開発から端を発したイスラエルとイランの対立、北朝鮮による大陸間弾道ミサイルの発射など、国際社会においては、政治的・社会的問題が絡み合う緊迫した情勢が続いており、我が国を取り巻く安全保障環境はより一層厳しさを増しております。

弘前駐屯地は、弘前商工会議所を中心とする市民活動によって誘致し、昭和43年に開設されており、その主たる任務である青森県西部の防衛・警備・災害派遣に留まらず、駐屯地周辺のりんご園での援農ボランティアや当市四大まつりへの参加・協力など、地域経済の観点からも地域にとってなくてはならない存在となっております。

令和4年12月には国家防衛戦略が閣議決定され、自衛隊体制について見直しが見られるものと認識いたしております。これまで弘前市民とともに歩んできた弘前駐屯地の体制を維持し、さらなる強化に向けて格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月29日

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

会長 尾崎 寿一

防衛省 大臣官房審議官

寺田 広紀

〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町五十一
電話：〇三(五二六九)三二五六
e-mail: [REDACTED]

退官御挨拶

統合幕僚長

陸将 吉田 圭秀



〒一六二一八八〇五
東京都新宿区市谷本村町五番一号
TEL〇三(三二六八)三一内三〇〇〇〇



政務活動報告書

会派名 弘前さくら未来

年 月 日	2025 年 10 月 24 日 ~ 2025 年 10 月 25 日			
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	防衛省 新青森駅~東京 電車、新幹線移動にて			
相手方 (会議名等)	防衛省 職員			
	防衛省陳情			
参加議員名	竹内博之 成田大介 樋川篤子 工藤裕介			
活動の概要	別紙のとおり			
※会議・研修資料等があれば、添付してください。				
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号
	交通費及び宿泊料	188,400 円	5	
		円		
		円		
		円		
		円		
	合計額	188,400 円		
備 考	(写真貼付等) 別紙のとおり			

陳情要望活動に関する報告書（政務活動費）

弘前さくら未来
会長 竹内博之

- 1 期間 令和7年10月24日（金）
- 2 視察先 防衛省 第一会議室
- 3 項目 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望書提出
- 4 要望相手方 整備計画局長 伊藤 晋哉 氏
- 5 同行議員（会派 弘前さくら未来） 成田大介、樋川篤子、工藤裕介

6 概要

弘前駐屯地は、昭和43年の開設以来、国の防衛に加え、災害発生時の支援や四大まつりへの協力など、地域に根ざした活動を継続しており、市民の安心・安全を守る上で極めて重要な存在である。

一方で、国家防衛戦略の改定に伴い、自衛隊全体の再編や体制見直しが進む中、弘前駐屯地についても将来的な体制変更が懸念される状況にある。こうした中、これまで築いてきた地域との信頼関係や、弘前地域における駐屯地の役割の重要性を踏まえ、体制の維持・強化を求める要望を行った。

当日は、弘前市長をはじめ、弘前商工会議所、防衛議員連盟所属議員、市民団体関係者など計22名が参加し、防衛省に対して要望書を手交するとともに、意見交換を行った。弘前駐屯地が今後も地域の誇りとして、市民の安心と安全を支える存在であり続けるよう、関係者が一体となって要望活動を実施したものである。

7 所感

今回の要望活動を通じ、弘前駐屯地が単なる防衛施設ではなく、地域防災、地域行事への協力、そして市民生活の安心感を支える重要な社会基盤であることを改めて認識した。特に豪雪地帯であり、災害対応力の確保が重要な弘前市にとって、駐屯地の存在意義は極めて大きい。

国の防衛政策は広域的・戦略的視点で進められる一方、地域に根差した部隊が果たしてきた役割は、数字だけでは測れない価値を持っている。だからこそ、自治体としても地域の実情を丁寧に伝え、必要性を粘り強く訴えていくことが重要であると感じた。

今後も弘前さくら未来として、弘前駐屯地の体制維持・強化に向け、行政や経済団体、関係機関と連携しながら、市民の安心・安全を守る観点から必要な働きかけを続けていきたい。

陳情要望活動に関する報告書（政務活動費）

弘前さくら未来
成田大介

- 1 期間 令和7年10月24日（金）
- 2 視察先 防衛省 第一会議室
- 3 項目 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望書提出
- 4 要望相手方 整備計画局長 伊藤 晋哉 氏
- 5 同行議員（会派 弘前さくら未来） 竹内博之、樋川篤子、工藤裕介

6 概要

弘前駐屯地は、昭和43年の開設以来、国の防衛に加え、災害発生時の支援や四大まつりへの協力など、地域に根ざした活動を継続しており、市民の安心・安全を守る上で極めて重要な存在である。

一方で、国家防衛戦略の改定に伴い、自衛隊全体の再編や体制見直しが進む中、弘前駐屯地についても将来的な体制変更が懸念される状況にある。こうした中、これまで築いてきた地域との信頼関係や、弘前地域における駐屯地の役割の重要性を踏まえ、体制の維持・強化を求める要望を行った。

当日は、弘前市長をはじめ、弘前商工会議所、防衛議員連盟所属議員、市民団体関係者など計22名が参加し、防衛省に対して要望書を手交するとともに、意見交換を行った。弘前駐屯地が今後も地域の誇りとして、市民の安心と安全を支える存在であり続けるよう、関係者が一体となって要望活動を実施したものである。

7 所感

今回の要望活動を通じて、弘前駐屯地が地域の安全保障だけでなく、災害対応や地域行事への協力など、市民生活に密接に関わる役割を担っていることを改めて認識した。特に近年は、自然災害への備えや危機管理体制の強化が全国的な課題となっており、弘前市においても有事の際に迅速に対応できる体制を身近に確保しておくことの重要性は非常に大きいと感じた。

また、弘前駐屯地は地域との関係性を大切にしながら活動を続けており、その存在は市民の安心感の醸成にもつながっている。防衛という国の根幹に関わる分野であっても、地域に根差した視点を持って実情を伝えることは地方議会の重要な役割である。今後も地域の実情を踏まえながら、弘前駐屯地の体制維持・強化に向けた取組を後押ししていきたい。

陳情要望活動に関する報告書（政務活動費）

弘前さくら未来
樋川篤子

- 1 期間 令和7年10月24日（金）
- 2 視察先 防衛省 第一会議室
- 3 項目 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望書提出
- 4 要望相手方 整備計画局長 伊藤 晋哉 氏
- 5 同行議員（会派 弘前さくら未来） 竹内博之、成田大介、工藤裕介

6 概要

弘前駐屯地は、昭和43年の開設以来、国の防衛に加え、災害発生時の支援や四大まつりへの協力など、地域に根ざした活動を継続しており、市民の安心・安全を守る上で極めて重要な存在である。

一方で、国家防衛戦略の改定に伴い、自衛隊全体の再編や体制見直しが進む中、弘前駐屯地についても将来的な体制変更が懸念される状況にある。こうした中、これまで築いてきた地域との信頼関係や、弘前地域における駐屯地の役割の重要性を踏まえ、体制の維持・強化を求める要望を行った。

当日は、弘前市長をはじめ、弘前商工会議所、防衛議員連盟所属議員、市民団体関係者など計22名が参加し、防衛省に対して要望書を手交するとともに、意見交換を行った。弘前駐屯地が今後も地域の誇りとして、市民の安心と安全を支える存在であり続けるよう、関係者が一体となって要望活動を実施したものである。

7 所感

今回の要望活動を通じて、弘前駐屯地は防衛上の拠点という役割に加え、地域社会の安心と安定を支える大切な存在であることを改めて感じた。災害時における迅速な支援体制はもちろんのこと、地域行事への参加や援農活動など、日頃から市民との接点を重ねていることが、信頼関係の基盤になっていると考える。

特に、弘前のように四季の変化が大きく、豪雪をはじめとした自然条件への対応が必要な地域において、自衛隊の果たす役割は非常に大きい。地域に根差した活動を継続してきた弘前駐屯地の体制が維持されることは、市民生活の安心にも直結するものである。今後も、地域の声を丁寧に受け止めながら、弘前駐屯地の重要性を広く共有し、必要な働きかけを続けていくことが大切であると感じた。

陳情要望活動に関する報告書（政務活動費）

弘前さくら未来
工藤裕介

- 1 期間 令和7年10月24日（金）
- 2 視察先 防衛省 第一会議室
- 3 項目 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望書提出
- 4 要望相手方 整備計画局長 伊藤 晋哉 氏
- 5 同行議員（会派 弘前さくら未来） 竹内博之、成田大介、樋川篤子

6 概要

弘前駐屯地は、昭和43年の開設以来、国の防衛に加え、災害発生時の支援や四大まつりへの協力など、地域に根ざした活動を継続しており、市民の安心・安全を守る上で極めて重要な存在である。

一方で、国家防衛戦略の改定に伴い、自衛隊全体の再編や体制見直しが進む中、弘前駐屯地についても将来的な体制変更が懸念される状況にある。こうした中、これまで築いてきた地域との信頼関係や、弘前地域における駐屯地の役割の重要性を踏まえ、体制の維持・強化を求める要望を行った。

当日は、弘前市長をはじめ、弘前商工会議所、防衛議員連盟所属議員、市民団体関係者など計22名が参加し、防衛省に対して要望書を手交するとともに、意見交換を行った。弘前駐屯地が今後も地域の誇りとして、市民の安心と安全を支える存在であり続けるよう、関係者が一体となって要望活動を実施したものである。

7 所感

今回の要望活動を通じて、弘前駐屯地が地域防衛の拠点であると同時に、災害派遣や地域支援を通じて市民生活を支える重要な基盤であることを再認識した。国全体で防衛体制の見直しが進められる中であっても、地方に所在する部隊や駐屯地が現場で果たしている役割は極めて大きく、弘前地域においてもその価値は今後ますます高まるものと考えられる。

とりわけ、災害時に迅速な初動対応が可能な体制を維持することは、住民の生命と暮らしを守る上で不可欠である。また、地域行事や産業支援への協力を通じて築かれてきた信頼関係は、弘前駐屯地が地域に深く根差した存在であることを示している。国の政策判断に対しては、地域の実情と必要性を具体的に伝えていくことが重要であり、今後も弘前駐屯地の体制維持・強化に向けて、責任ある立場で取り組んでいきたい。

防衛省 整備計画局長

伊藤 晋哉 様

要 望 書

令和7年10月24日

弘 前 市
弘 前 商 工 会 議 所
弘前市議会議員有志による防衛議員連盟
防衛協会津軽地区連絡協議会
弘 前 市 防 衛 協 会
青 森 県 隊 友 会 中 弘 支 部
弘 前 市 自 衛 隊 家 族 会

陸上自衛隊 弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望

国際社会においては、ロシアによるウクライナ侵略が継続しているのをはじめ、中国による尖閣諸島周辺を含む東シナ海や太平洋などでの活動の活発化、北朝鮮による弾道ミサイルの発射など、我が国を取り巻く安全保障環境は、より一層厳しく複雑なものとなっております。

弘前駐屯地は、弘前商工会議所を中心とした多年にわたる市民の誘致活動により、昭和43年に開設されて以来、長年にわたり我が国北方の防衛を担い、市民の平和と安全の確保はもとより、災害発生時の支援のほか、当市四大まつりへの参加・協力など、地域経済の観点からも市民にとってはなくてはならない存在となっております。

しかしながら、令和4年12月には国家防衛戦略が閣議決定され、自衛隊の体制についても再編が行われていると認識いたしております。

これまで弘前市民とともに歩んできた弘前駐屯地の体制を維持し、さらなる強化に向けて、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年10月24日

弘 前 市 市 長 櫻田 宏

弘 前 商 工 会 議 所 会 頭 今井 高志

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟 会 長 尾崎 寿一

防衛協会津軽地区連絡協議会 会 長 工藤 武重
弘 前 市 防 衛 協 会

青 森 県 隊 友 会 中 弘 支 部 支 部 長 上月 潔

弘 前 市 自 衛 隊 家 族 会 会 長 代 行 中 山 悟
(副会長)



防衛省
MINISTRY OF
DEFENSE

〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町五十一
電話 〇三(五二二八)三六一四
FAX 〇三(五二二九)二一四三
E-mail

整備計画局長

伊藤 晋哉

